あまにゅう

青森県青年海外協力協会(AOCA) 機関誌
平成 18 年 9 月号 (2006.9)
発行： 青森県青年海外協力協会事務局
編集担当：大賀重樹 (5−1 ホンデュラス)

何より嬉しい　アオモリベリーナイス

会長　　高山幸人（Ｈ５－１ ミクロネシア連邦 日本語教師）

青年招へい事業が無事終了しました。叩き台作成に携わってくれた方、実行委員として企画運営された方、陰ながら応援してくださった方、みなさん、どうもお疲れさまでした。評価会などが東京で行なわれ、青年たちは翌日、成田空港を発ちました。１人の青年が空港から私の携帯に電話をくれました。「ジフです。いろいろありがとうございました。」と日本語で挨拶してくれました。アオモリのみなさんにありがとうございましたと伝えてくださいとも言っていました。何年も青招をやっていますがこんなことは初めてです。閉講パーティでも東京中心の合宿セミナー参加者が大勢いる中で、青年たちが口々に「アオモリ、ベリーベリーナイス！」を連呼していました。

そこまで言わなくてもいいだろうと苦笑いしながら正直とても嬉しかったです。また、青年たちから、メールアドレスを教えてくれというのも初めてでした。これも実行委員のみなさんやホストファミリーの温かい心が通じた証だと思います。

２００６青招は携わったみなさんにとって本当に良い思い出を確かに残してくれたのではないかと思います。

左の写真は、７月１１日（火）、青森に到着した夜の歓迎夕食会での記念写真です。

青年海外協力協会機関誌「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の機関誌です。す。この機関誌を年４回定期的に発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。

普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。

なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

帰国ボランティア歓迎会を開催！いい顔してるなみんな

大賀重樹（５－１　ホンデュラス　小学校教諭）

8 月 29 日（火）、帰国ボランティアの県庁表敬の夜、青森駅前の居酒屋「日本海庄や」に集まり、帰国歓迎会を行いました。地球色の日焼け青森応援団とＡＯＣＡの共催で行いましたが、総勢１８名と大変賑やかな会となりました。

帰国ボランティア歓迎会の対象者は以下の６名の方でした。

・鳴瀬　麻子さん（１５年度―３次隊　タイ・手工芸）　・里見　文　さん（１５年度―３次隊　エルサルバドル・日本語教師）

・杉内　昭夫さん（ＳＶ　ドミニカ共・都市計画）　・坂根　真弓さん（１６年度―１次隊　ミクロネシア・小学校教諭）

・奈良　真吾さん（１６年度―１次隊　チリ・森林経営）　・伊藤　教之さん（１６年度―１次隊　バングラデシュ・理数科教師）

実は、居酒屋の入り口で、何だかＯＧらしい雰囲気のする女性がおられて、「・・・・・・・・。」と感じていたら、その方は、鳴海さんでした。やはり！！鳴海さんとは直接面識がなかったのですが、留守家族連絡会で、ご家族にお会いしていたので、とても親近感がありました。応援団の奈良さんとＡＯＣＡ会長の高山さんの歓迎の言葉で会は始まり、場は一気に盛り上がりました。任国での仕事の話や現地の人々との交流、仕事の上でのエピソード、今後の進路など、話は尽きません。１８：３０からの会でしたが、帰宅したら時計の針は次の日になっていた人も多かったようです。

また、今回は、来年１月から訓練に入る予定の方が２名参加してくださり、訓練所での話、任国での活動のポイント、健康管理など、ここでしか聞けない話を詳しくされていました。出発前の壮行会でお会いした方も多かっただけに、「ああ、もう２年経ったんだな。」と感じました。帰国された方々の地球全体をフィールドにした活躍が楽しみです。

情熱あふれる杉内さん。すごい！

本当に楽しい一時でした　青木元事務局長を囲む会パートⅠ（５．１６）

山本加奈子（１０－１　ラオス　保健師）

2002 年 12 月、協力隊帰国研修の為訪れた広尾研修所で青木大使に初めてお会いしました。これまで、一度も連絡なんてとったこともないのに、自分の活動のことを色々御存知で、非常にびっくりしたのを思い出します。なんでも、隊員の報告書に全部目を通されていると聞いたのは、その後のこと。今、私は大学院の研究で、任国ラオスの医療系隊員の報告書を読んでいたのですが、集まった報告書は 37 人分。これだけ読むのすら、大変でした・・・何百人、何千人の報告書を読まれる青木元大使は、すごい！としか言いようがありません。それほど、協力隊を理解し、応援して下さっているということなのでしょう。ほんとうに有り難いことです。

何より、おいしそうにお酒をお飲みになられる姿が印象的です。拉致されていた時に一番辛かったことは、アルコールがないことで、なんでもいいからアルコールを口にした、と、冗談半分に語って下さり、ほんとうに楽しい一時でした。またおいしいお酒を飲みに、青森に来て下さい！

恐るべき記憶力は健在でした！嬉しい！

すごい力を分けてもらいました　青木元事務局長を囲む会パートⅡ（７．２１）

中村信行（元-3　バングラデシュ　電子機器）

五所川原での青木盛久氏を囲む夕べ（7 月 21 日（金）　17:30～19:30　五所川原市サンルートパティオにて）

五所川原工業高校で校長をされている藤村俊作 OB（S50-4 マラウィ）が五所川原工業高校での青木理事の講演を企画実現してくださいました。五所川原工業高校の職員 23 名と JOCV　OB5 名でのパーティでした。

職場を定時で出て 1 時間ほど遅れて会場に到着したところ、いきなり隊員時代の経験についての話をすることになりましたがどうにかこなすことができました。相馬さん（62-2 コロンビア）、下屋さん（61-2 タンザニア）、太田さん（61-1 ガーナ）、藤村さん（50-4 マラウィ）はすでに話を終えておられました。

力

五所川原工業高校の職員の方々は青木理事、それと手前味噌ではありますが JOCV　OB の話に興味を持って下さったようで、藤村 OB の目論見は大成功だったのではないでしょうか。懇談中はだれが協力隊に参加するとかしないとかいう話も聞こえていました。国際協力や海外の情勢についての認識を新たにして感動したとかいう話題で盛り上がっていました。

私は青木理事とごいっしょさせていただくのは 4 回目ですが、いつお会いしても、その度になにかすごい力のようなものを分けていただいているような気がします。そしてそれは私だけではないと思います。これからも多くの人に深い見識を分けていただきたいと思います。

旧友（戦友？）との尽きない会話を楽しむ藤村ＯＢ、駒田ＯＧ、そして、青木元事務局長

よろしくお願いします

副会長　小笠原　香（2－3　ホンデュラス　野菜）

今年度、県南の副会長を仰せつかりました小笠原です。帰国してから１２年になり、気がつけば、４人の子持ちで１０人家族の主婦。普通のおばさんをしております。

新・旧ＯＢの方々とお会いしたいと思いつつ、なかなか叶いません。でも機会があったら是非！と考えています。何分、微力なので、皆様の御力をお借りすることが多々あると思います。「またか。」と思われると思いますが、どうか宜しくお願い致します。

応募促進員の紹介です

平成１８年度ＪＯＣＶ秋募集応募促進員についてですが、最近帰国された奈良真吾さん（チリ、森林経営）になりましたので、お知らせします。帰国直後ということで、相談者も年齢的に近く相談しやすいでしょうし、また新しい協力隊の制度も知っておられるでしょう。

みなさんにも情報提供を呼び掛ける場面があると思いますのでどうぞよろしくお願いします。（高山幸人）

LIVE IN THE WORLD

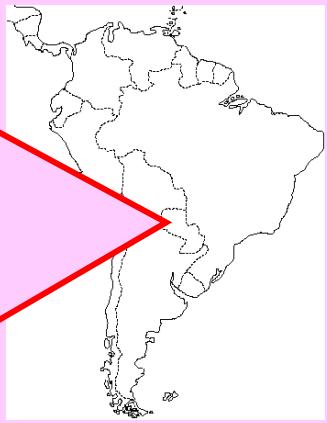
AOCA では、メーリングリストを活用して、会員間の連絡を取り合っていますが、実は会員以外にも活用している人がいます。それは派遣隊員です。今回は、吉田さんからの便りを紹介しましょう。

地球の裏側「パラグアイ」で　県人に会いました！！

　１７-３　協力隊員、パラグアイ　野菜　の吉田可奈子です。ご無沙汰しております。青森はもうねぶたが終わって、秋めいてきていることでしょう。こちらはまだ冬で最低気温は１０度くらいでしょうか。昼間や太陽の加減で３０度になったりするので、青森の冬とはだいぶ違いますが。パラグアイに来てからもう４ヶ月がたちました。

　私の任地は人口１５００人。パラグアイの南に位置し、アルゼンチンとの国境沿いです。仕事は共同菜園の指導と、近隣の小学校で畑仕事を一緒にやっています。といっても、小学校では子供一緒に遊び、共同菜園ではチパ作り（パラグアイの無発酵チーズパン）をしたりして、「農業やってる」感じはありませんが。パラグアイでも田舎のほうだからか、人々はみんな素朴で、とっても親切です。

　話は変わりますが、先日青森県人会の渡辺さんという方に会いました。その娘さんと一緒に食事をご馳走してもらい、いろいろお話を伺いました。娘さんは高校２年生とのことで、２年後の私と同じ時期に青森に行くかもしれないということでした。そのときは、今度は私が青森を案内してあげたいなぁと。地球の裏側で同郷の人に会えて、縁というか、こういう機会を与えていただいてありがたいなぁとつくづく思いました。また、パラグアイの近況をお知らせします。（2006.9.1）



吉田さん、お元気そうで何よりです。「テレレ」、飲んでますか。病気などしないで元気に過ごしてください！！

二次試験対策勉強会の成果は上々

大賀重樹（５－１　ホンデュラス　小学校教諭）

　７月９日（日）の午後に、１８年度春募集２次試験対策勉強会を実施しました。会場のアウガには、４名の方が参加されました。家政・村落開発普及員・食品加工・理数科教師の職種でした。模擬面接官には、高山幸人会長、中村信行 OB・駒田亜衣 OG・大賀 OB のほか、特別面接官として、（社）青年海外協力隊を育てる会　理事の小宮英夫氏にきていただきました。

　主旨説明の後、技術面接、人物面接、講評という流れで、約３時間をかけて行いました。写真にもあるように、本番さながらの緊張感あふれる勉強会でしたが、特に、小宮氏からの質問やアドバイスには、受講者も頷くことしきりでした。駒ヶ根訓練所長、協力隊調整員としての経験のほか、JICA 駐在員として数多くの隊員をみてこられた立場からのお話は、我々OBOG にとってもとてもためになりました。

　勉強会の後のアンケートでは、

「客観的な意見を聞くことができてよかった。自分のアピールポイントや足りない部分を認識できた。」

「２次試験の面接の具体的なイメージをつかむことができた。他の参加者の話も聞くことも勉強になった。自分の実務経験が強いアピールポイントになることがわかってよかった。」

「自分のやる気を面接官に納得する内容にして話すことの大切さがわかりました。」

「緊張感を持って臨むことができました。今日の経験がなければ本番はもっとあがってしまうと思います。また、経験豊富な第三者の方にご指てきいただき大変参考になりました。自分の準備不足を本番前の今の時期に確認できてよかったです。」

などの意見が出ました。

　今回は、４名のうち、３名が、２次試験も合格するというううれしい結果がでました。元々すばらしい熱意を持った人たちなので合格するだろうと思っていましたが、実際の合格と聞くとうれしいです。今後も２次試験対策勉強会は続けていきたいという思いを強く持ちました。

　次回の２次試験対策勉強会は、来年１月の予定です。県内 OBOG の方には、模擬面接官をお願いしたいと思いますので、担当の大賀までご連らくください。

「全員合格」を願っての勉強会

１８年度１次隊前期　壮行会開催　　元気に活動してください！

高山幸人（５－１ ミクロネシア連邦 日本語教師）

６月１９日に１８年度１次隊前期　壮行会を開催しました。翌日の東奥日報にも表敬の様子が載っていましたが、小泉さんが壮行会をとっても感激してくれたのが印象的でした。（お店の店員から突然の激励の言葉やシャンパンをいただきました。）越前さんは笑顔がさわやかな好青年できっとやってくれるに違いないと思いました。他に参加者は、桜田悟 OB、大賀重樹 OB、相馬 OB、高山 OB、カンボジアに地雷撤去に行かれた小形将樹さん、地球色の日焼け応援団の奈良秀則新団長、坂本元団長、伊藤副団長、青果業を営んでいる団員の盛さん、県国際課長の今[redacted]を昔から知っているという方でした！）

【１８年度１次隊（前期）隊員紹介】

小泉　優佳（コイズミ　サヤカ）さん

八戸市出身：ドミニカ共和国・小学校教諭

写真前列左から二人目です。とてもさわやかな方で、現職参加でもあり自然体がすてきでした。派遣中はもとより、帰国後の活やくも楽しみです。

越善　啓　（エチゼン　ケイ）さん

むつ市出身：カンボジア・PC インストラクター

むつ工業高校で講師をされていた越善さんです。大柄でたくましく、笑ったときの笑顔が印象的でした。任国からの情報発信が楽しみです。

また、今回は、２００４年から１年半、カンボジアのシェムリアップにある地雷博物館において、地雷の除去活動を行っていた小形将樹さん（青森市在住）が参加してくださいました。民間のボランティアとして行った活動の話は大変興味深いものでした。機会を作ってくわしくお話を伺いたいと感じました。（写真前列　右から二人目）

地球色の日焼け応援団と AOCA が一緒になっての壮行会、毎度のことながら盛り上がります！

今後の主な予定から

９月２６日（火）　平成１８年度一次隊後期・シニアボランティア　壮行会　１８：３０～

場　所：日本海庄や（青森駅前店）（JICA の相馬で予約済み）　青森市安方１-３-２６　TEL　０１７-７７６-８７３１　　会費　４０００円

職種と任国　：　皮革工芸（（ブータン）・観光開発（アルゼンチン）・建設機械保守管理（ブルキナファソ・エジプト）
小学校教諭（ブルキナファソ）・　以上 SV３名、隊員２名。

９月３０日（土）　ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア（三沢）１０：００～１６：００

場　所：三沢国際交流教育センター　　主　催：ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア（三沢）実行委員会

募　集：青森県国際交流協会ブース内に JICA コーナーを出しますので、お手伝いを募集します。（JICA 謝金あり）

９月３０日（土）　生涯学習フェア　９：００～１７：００　（場　所：青森県総合社会教育センター　一階ロビー）

主　催：青森県民カレッジ事務局　　募　集：AOCA でブースを申し込んでいるので、お手伝いを募集します。

＊場所は県国際課と隣り合わせの一等地（一昨年と同じ場所）を確保しました。（JICA 謝金あり）

10 月 20 日（金）ＪＯＣＶ秋募集説明会　18:30 弘前総合学習センター

１０月２４日（火）企業・市町村・公共団体向け「現職参加セミナー」　準備中（詳細は相馬まで）

10 月 27 日（金）ＪＯＣＶ秋募集説明会　18:30 八戸ユートリー

10 月 28 日（土）ＪＯＣＶ秋募集説明会　16:00 水産ビル

募集説明会の後は、毎回、みんなで食事をしながら、いろいろな情報交換をしています。いそがしくてなかなか時間がとれない方も多いと思いますが、２０：３０過ぎから食事会になるので、食事会だけの参加ももちろん大かんげいですので、気軽に連絡をください。連らく先は、各地区の副会長でも、会長の高山さんでも、JICA デスクの相馬さんでも構いません。

１１月１６日（木）　出前講座（青森県立青森高等学校）

１１月２６日（日）ミニ・インターナショナル・フレンドシップ・フェア（藤崎町）１０：００～１６：００

１１月２６日に「ホテルルワンダ」上映とルイズさん講演会　計画中（詳細は相馬まで）

（編集後記）マラウイの隊員が作った AIDS 予防の曲が日本でも発売されます。一人の活動が大きなうねりになる、それが協力隊なんだなあと再認識しています。OBOG は、隊員のみなさんからいろいろ教えてもらいながら、がんばっていきましょう。あまにゅうに対するご意見・ご感想をいつでも募集阿しております<momotarooga@ybb.ne.jp>

電話＆FAX での連絡は、国際協力推進員（相馬）までお願いします。（電話０１７－７３５－２２４９　FAX０１７－７３５－２２５２）